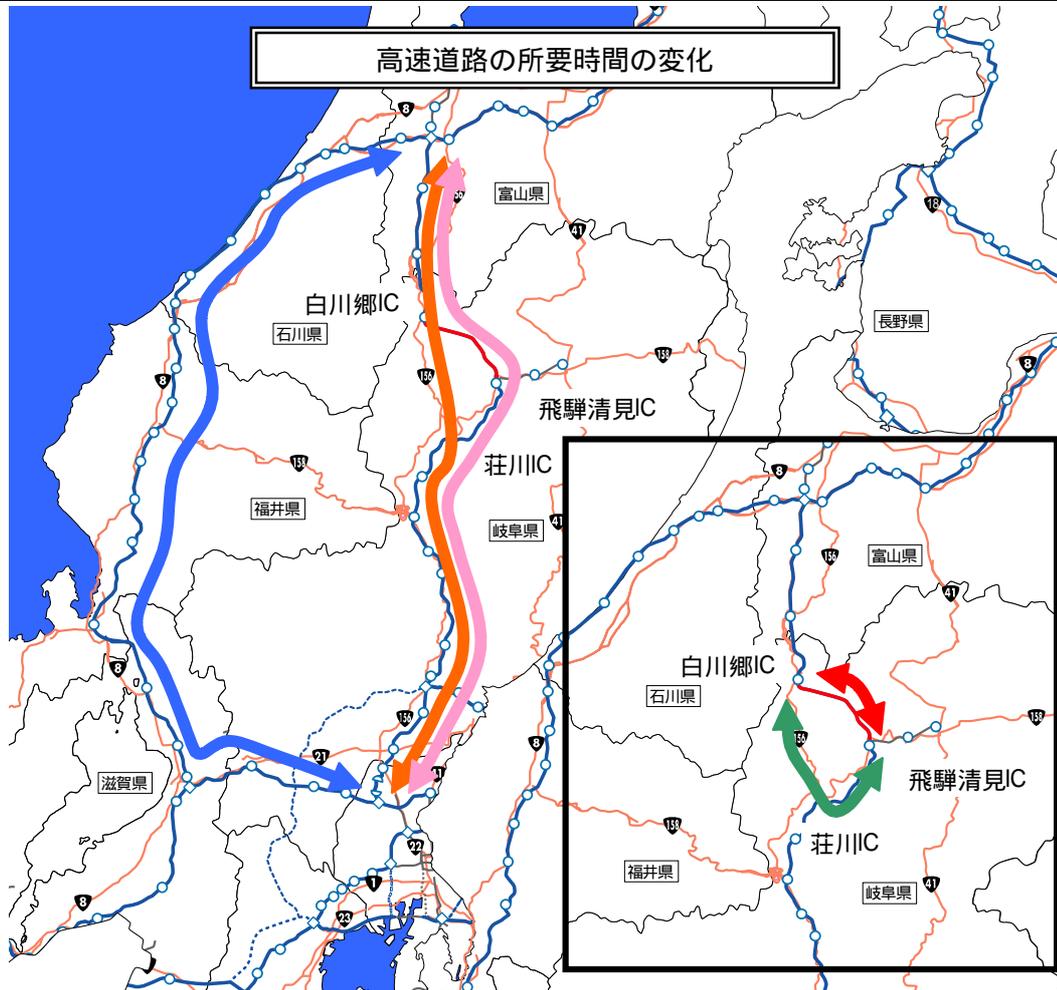
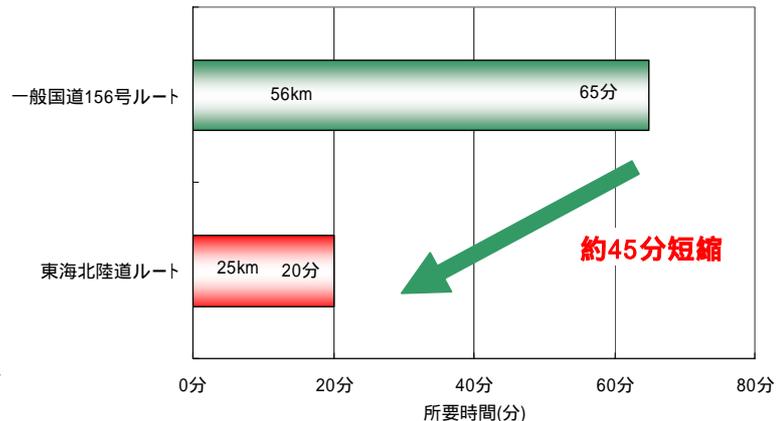


3. 高速道路と一般道路の所要時間の変化

- ・開通前後における飛騨清見IC～白川郷IC間の所要時間を一般国道156号を經由したルートと東海北陸道ルートで測定したところ、休日において約45分短いことが確認されました。
- ・一宮JCT～小矢部砺波JCT間の東海北陸道ルートと北陸道・名神ルート両方（いずれも一宮JCT～小矢部砺波JCT間）の所要時間を測定したところ、北陸道・名神ルートと比較して東海北陸道ルートの方が休日では約20分短いことが確認されました。



一宮JCT～小矢部砺波JCT間の所要時間差



飛騨清見IC～白川郷IC間の所要時間差

飛騨清見IC～白川郷IC 開通前は、平成20年6月22日(日)の上下線 実走行による計測値の平均値。
 飛騨清見IC～白川郷IC開通後は、平成20年7月13日(日)の上下線 実走行による計測値の平均値。ただし、一宮JCT～小矢部砺波JCT間については、下り線のみ計測値とした。
 東海北陸道ルートでは、美並IC～郡上八幡IC間(7月18日4車線化完成予定区間)上り線の渋滞により、通常時より約30分の遅れが発生。
 いずれも、乗用車による測定。